

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>		へき地における医療提供等の実施		<b>担当部局庁</b>	医政局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	昭和32年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	地域医療計画課救急・周産期医療等対策室		室長：伯野 春彦		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	第11次へき地保健医療計画 へき地保健医療対策等実施要綱				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	社会保障				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	へき地診療所等への代診医等の派遣、へき地従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業等が実施可能な病院を都道府県単位で「へき地医療拠点病院」として編成し、へき地医療支援機構の指導・調整の下に各種事業を行い、へき地における住民の医療を確保する。また、へき地診療所等において、勤務医師を確保するため、交代要員を確保することによる診療所勤務医師の負担軽減及び子弟の教育環境の整備等に対する支援を行うこと、巡回診療車、巡回診療用雪上車、巡回診療船を整備し、無医地区等又は無医地区に準ずる地区に対する巡回診療を行い、へき地における住民の医療を確保することを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること。</li> <li>へき地診療所等への代診医等の派遣及び技術指導、援助に関すること。</li> <li>特例措置許可病院への医師の派遣に関すること。</li> <li>派遣医師等の確保に関すること。</li> <li>へき地の医療従事者に対する研修及び研究施設の提供に関すること。</li> </ul> 補助率：1/2.1/3 補助対象：都道府県、市町村、医療法人、学校法人等								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額</b> (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	▲ 39	-	-			
		計	1,371	1,373	1,381	1,767	1,967		
		執行額	1,246	1,266	1,274				
執行率 (%)	91%	92%	92%						
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	へき地医療拠点病院数を前年度以上とする。	へき地医療拠点病院数(27年度については集計中)	成果実績	箇所	296	302	312	-	-
			目標値	箇所	264	296	302	-	302
			達成度	%	112	102	103	-	-
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	無医地区等における巡回診療等の実施回数を前年度以上とする。	無医地区等における巡回診療等の実施回数(27年度については集計中)	成果実績	回	21,746	21,870	22,888	-	-
			目標値	回	25,545	21,746	21,870	-	23,382
			達成度	%	85	101	105	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	補助都道府県数(無医地区を有する43都道府県のうち)	活動実績	都道府県	43	43	43	-		
		当初見込み	都道府県	43	43	43	43		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	執行額/補助都道府県数	単位当たりコスト	百万円	29	29	30	-		
		計算式	執行額/補助都道府県数		1,246/43	1,266/43	1,274/43	-	
<b>平成28・29年度予算内訳</b> (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	1,767	1,967	「新しい日本のための優先課題推進枠」473					
	計	1,767	1,967						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること							
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標年度 -年度
		無医地区等における医療活動(巡回診療、代診医派遣等)回数 (27年度については集計中)	実績値	回	21,746	21,870	22,888	-	-
	目標値		回	25,545	21,746	23,382	23,382	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	成果目標のうち、へき地医療拠点病院数及び巡回診療件数を増加させることが、へき地における住民の医療確保に直結することから、地域における医療提供体制の確保をより一層促進できる。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の必要性	項目	評価							評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○							未だ無医地区等が多く存在しており、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○							都道府県・地域間の医療格差是正の観点から、引き続き国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○							未だ無医地区等が多く存在しており、無医地区等における巡回診療等の実施回数を増やすという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-							-
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○							受益者も応分の負担をしており妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○							当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○							当該事業は都道府県直接補助事業である。
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○							補助対象がへき地医療支援機構の運営費であるため、費目・使途が事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-							-
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○							へき地医療拠点病院数は年々増加し、平成26年度における巡回診療等の実績は増加していることから、見合ったものになっていると考えられる。
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○							見込みに見合ったものになっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-							-
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○							「へき地における医療提供体制整備の支援」においては、へき地医療支援事業の企画・調整等を行うものであり、実際に各種事業を行う本事業とは役割が異なる。そのため、適切な役割分担を行っていると考えられる。
点検・改善結果	所管府省・部局名	事業番号	事業名						
	厚生労働省医政局	4	へき地における医療提供体制整備の支援						
点検結果	点検結果	未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題である。無医地区を有する全都道府県において、よりへき地医療対策を円滑に実施するために本事業が活用されていることから、引き続き、国の施策として進めていくことが必要であると考えられる。							
	改善の方向性	自治体から提出された実績報告書より事業による効果や執行実態を把握しているところである。執行率は毎年9割を超えていることから、引き続き適切な執行に努めてまいりたい。							

**外部有識者の所見**

へき地医療対策として昭和32年より継続している事業であり、この数年間の実績も対予算で90%以上を達成している。当該事業の意義は十分に認める。具体的な支援自治体も全国に亘っているが、各年での支援実績を集計比較し、偏りのないよう対応を求める。(増田 正志)

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現  
状  
通  
り

外部有識者の所見も踏まえつつ、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

現  
状  
通  
り

外部有識者のご意見も踏まえ、地域によって偏りのない支援を行えるよう、引き続き適切な執行に努めてまいりたい。

**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	27	平成23年度	26	平成24年度	27	
平成25年度	6	平成26年度	6	平成27年度	5	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
1,274百万円

【へき地における医療提供等に対する補助】

↓ ※補助率 1/3、1/2、2/3

【補助】

A. 都道府県等(43) 1,274百万円

【へき地における医療提供等に対する補助】

↓

【補助】

B. 鹿児島県医療機関等(32) 179百万円

事業内容

- ・巡回診療等によるへき地住民の医療の確保
- ・へき地診療所等への代診医等の派遣及び技術指導、援助
- ・特例措置許可病院への医師の派遣
- ・派遣医師等の確保
- ・へき地の医療従事者に対する研修及び研究施設の提供 等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

